

表題 多面的なデータ人材育成の取組～博士研究者／棟梁クラス／大学統計教員の育成

特色ある取組

ビッグデータ解析やDXの推進のためにデータ人材の育成が急務の課題であるが、情報・システム研究機構(統計数理研究所)においては、データ人材の育成に関して、①博士研究者の育成、②棟梁クラスのデータサイエンティストの育成、③大学統計教員の育成といった多面的な方向からの取組を行っている。

①については、総合研究大学院大学の基盤機関として統計科学専攻(現在は統計科学コース)を担当し、全国に先駆けて1988年の開学以来、現在までに169名の博士学位授与者を輩出してきた。修了生の主な就職先は、国公立大学、国公立研究機関、私立大学、民間企業、海外の大学等であるが、学术界が多い(56%：令和5年3月末時点)のが特徴となっている。

②については、統計思考院において2017年度よりリーディングDAT(データサイエンス高度人材育成プログラム)を開講し、企業や大学教員・研究員などのハイポテンシャルな人材を対象として、統計数理の知識とスキルを持った棟梁レベル(エキスパート)のデータサイエンティストを養成してきた。

③については、全国の29大学等が参画するコンソーシアムを統計数理研究所が中核となって形成し、「統計エキスパート人材育成プロジェクト」を開始。コンソーシアム参画機関より助教等の若手研究者を受け入れて、2021年度から5年間で30名以上の大学統計教員の育成を目指している。第1期研修生12名と第2期研修生13名、合計25名の所属機関は国立大学52%、公立大学8%、私立大学32%、大学共同利用機関8%である。

期待できる成果・評価など

①と②の取組により、国内の基盤となる学術研究の発展と現場におけるデータ解析の実践力の向上の双方に多大な貢献をしてきただけでなく、③の取組によりコンソーシアム参加大学等においても統計数理研究所が先行実施してきた人材育成がさらに多面的に展開されていくことが見込まれ、これにより日本全体のデータ科学／統計科学の学術研究と教育、および現場におけるデータ解析の実践力が飛躍的に向上することが期待される。③の取組は日本統計学会から統計活動賞を授与、文科省による中間評価で最高位のS評価を得た。

参考URL <https://www.ism.ac.jp/senkou/index.html> (統計科学コース)  
<https://www.ism.ac.jp/shikoin/training/leadingdat/index.html> (リーディングDAT)  
<https://stat-expert.ism.ac.jp> (大学統計教員育成)

日本全体の  
データ科学／科学の学術研究と教育  
現場におけるデータ解析実践力  
の飛躍的向上

多面的なデータ人材育成

①博士研究者



統計科学コース  
修了式

②棟梁クラス



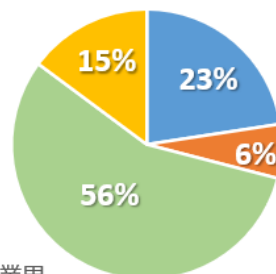
リーディングDAT  
養成コース修了式

③大学統計教員



大学統計教員  
育成研修修了式

統計科学専攻修了後の進路分布



■ 産業界  
■ 官公庁(研究機関以外の独法を含む)  
■ 学术界  
■ その他(不明を含む)

「大学統計教員育成研修」  
第1期生(12人)+第2期生(13人)の  
所属機関分布

